

広島市歯科医師会だより



11月号

Hiroshima City Dental Association

No.163 (R2.11.13)



目次

行事報告

広島市歯科医師会 広島東洋カープ観戦の集い	1 ページ
第4回 支部長・副支部長会議	2 ページ

支部だより

中区支部	2 ページ
東区支部	3 ページ
南区支部	5 ページ
西区支部	5 ページ

各部署員自己紹介(広報部)

(小林裕子委員・鈴木良貴委員・山田英太郎委員)	6 ページ
-------------------------	-------

会長コラム『柔しく剛く』 コロナ禍と親睦事業	10 ページ
------------------------	--------

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	11 ページ
-----------------------------	--------

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起っていますー(総務部)	12 ページ
ゆ〜ちゅ〜ぶははじめました(広報部)	13 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	14 ページ
誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部)	16 ページ
FM ちゅーピー(広報部)	17 ページ
10月定例理事会報告	17 ページ

新年互礼会中止のお知らせ

例年お楽しみいただいております、広島市歯科医師会主催の新年互礼会ですが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、苦渋の選択ですが中止とさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

行事報告

広島市歯科医師会 広島東洋カープ観戦の集い

日時：10月18日(日) 午後1時30分

場所：MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島「ラグジュアリーフロア」

本会主催のカープ観戦の集いが開催された。

今回はコロナ禍での開催ではあったが定員を大きく上回るご応募を頂き、抽選で当選された40名での観戦となった。前日は森下が9勝目を逃し悔しい結果であったが、先発の中村祐太が毎回ランナーを背負いながらも7回7安打無失点と好投し、自身3連勝で今季3勝目をあげた。試合は4回裏に西川の一軍復帰後初ホームランで先制し、この状況下独特のエアーハイタッチをみんなで

行った。続く5回に鈴木が3ランでリードを広げ、8回にまたしても西川のソロホームランで追加点をあげ、フランスアが抑えた。声援はなく拍手だけの静かな空気感ではあったが皆、目尻が緩みマスクの上からでも満面の笑みがこぼれていた。晴天にも恵まれ、爽やかな秋風が吹き抜け、換気抜群の空間での観戦は日々の診療の疲れを忘れさせてくれる最高のリフレッシュとなった。



カープ球団カメラマンに撮って頂いた思い出の集合写真



小さな声で熱い声援を送る参加者たち



気持ちのいい秋晴れでの観戦の様子



誠也のホームランに興奮！



勝利！

第4回 支部長・副支部長会議

日時：10月21日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席し、標記の会が開催された。始めに熊谷宏会長より「新型コロナウイルス感染症の影響で広島市歯科医師会事業をやるか、中止するかを決めることが多いですが、最近患者さんが戻ってきてると感じますが先生方はどうでしょうか。本日もよろしく願いいたします。」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告

中区支部

- 8月19日 第3回支部長・副支部長会
- 8月20日 中区地域ケアマネジメント会議
- 8月22日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
(書面議決)
- 9月14日 中区地域ケアマネジメント会議
- 10月5日 中区地域対策協議会臨時理事会
(書面議決)
- 10月12日 中区地域ケアマネジメント会議

東区支部

- 8月19日 第3回支部長・副支部長会
- 8月20日 在宅サポート研修会
- 8月22日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
(書面議決)
- 9月28日 フェイスネット講習会
- 10月1日 認知症けあカフェ

南区支部

- 8月19日 第3回支部長・副支部長会

8月22日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
(書面議決)

9月24日 土江雄治朗先生入会

西区支部

8月19日 第3回支部長・副支部長会議

8月22日 広島市歯科医療対策協議会総会
(書面議決)

10月15日 中広圏域多職種研修会

協 議

①中 区

- ・窓口キャッシュレス決済について

②西区

- ・ウィズコロナにおけるWEB等を用いた連絡、会議、講習会等環境整備の現在状況について

③執行部

- ・乳幼児健診について
- ・各区歯周病予防教室について
- ・サンスターサンプリングについて
- ・N95マスク等配布について

支部だより

中区支部

広島市吉島地域包括支援センター主催「介護予防教室」

日時：10月14日(水)午後2時

場所：吉島集会所

標記の介護予防教室が開催され、辰本将哉中区支部会員が「オーラルフレイルと口腔ケア」と題して地域住民33名に対して講演を行った。今回は新型コロナ感染対策とし

て参加者全員のマスク着用やマスクを外した状態での実習の中止などの感染防止策を講じての開催となった。

講演では日本の超高齢社会の現状、フレイルとオーラルフレイルについて説明し、オーラルフレイルを予防するこ

とがいかに大切であるかを伝えた。そのためには口腔ケアが必要不可欠であるためセルフケアを中心に説明を行い、機能的セルフケアとしてパタカラ運動やペコぱんだを使用した舌圧トレーニングなどを口頭で説明した。続いてマスクを外さずできる診断テストとして反復唾液嚥下テスト(RSST)も行い、誤嚥性肺炎について理解しやすくなるよう説明した。

また介護予防やフレイル対策の一環として、高齢者の通いの場に歯科衛生士を派遣するアウトリーチ型支援や、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチなど今後の高齢者に対する支援の新たな取り組みなども紹介した。

最後に With コロナの今だからこそ、歯科医院への通院を躊躇するのではなく、かかりつけ歯科医に治療や口腔ケアの継続などを相談するよう伝え講演を終えた。広島市歯科医師会の一会員として地域に密着した活動を今後も続けていく所存である。



教室の様子

東区支部

令和2年度 第2回フェイスネット「TRITRUS」講習会 入門編

日時：9月28日(月)・10月19日(月)午後7時

場所：広島医師会館3階「視聴覚室」

西区観音本町にある広島医師会館にて広島市東区地域保健対策協議会及び広島市東区医師会の共催にて標記の会が開催された。野々山深広島市東区医師会理事・東区地対協理事の司会により始まり、金谷雄生広島市東区医師会会長・東区地対協会長の挨拶があった。その後、(株)カナムミックネットワークの3名が講師を務め、第1部としてシステムの特徴と利用のメリット、基本操作の説明があり、実際にパソコンを操作してのハンズオン講習(ケアレポートの書き込みやタイムラインの見方、検索方法等)となった。このシステムは医療・看護・介護・自治体等という多職種間の情報共有を容易にし、地域包括ケアをよりよく行うためのクラウドサービスとして東区内で徐々に運用が

広がってきている。この度の講習会は新型コロナウイルス感染症対策として1回の人数を制限しての開催となったため、9月28日と10月19日に分けて行われた。医師、歯科医師、看護師、訪問看護師など主に初めての連携参加者の入門編として計33名の参加となった。第2部として住吉秀隆東区医師会副会長および金谷雄生東区医師会会長が現在担当している事例を用いて実際の運用状況が説明紹介された。運用を前提とした活発な質疑があった。最後に堀内賢二広島市東区医師会副会長が閉会の辞を述べ閉会した。

東区支部から野村登志夫支部長、前島真紀子氏、宮村健一氏が出席した。



講習会の様子

認知症けあカフェ in 東区

日時：10月1日(木)午後2時

場所：東区総合福祉センター3階「大会議室」

認知症研修会が標記の場所で開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区地域包括支援センター、認知症けあカフェを考える会および広島市認知症地域支援推進員で、対象者は医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、地域包括支援センター、健康長寿課、認知症地域支援推進員、民生委員であり、参加者は会場での参加が55名(東区支部より野村登志夫支部長、宮村健一氏が参加)およびリモートでの参加が57名の計112名であった。福田知枝広島市認知症地域支援推進員の司会で始まり、片山二枝広島東警察署交通総務課広島県警部補より「認知症の方の免許返納を考える」という演題で講演があった。全国で死亡事故を起こした75歳以上のドライバーのうち、事故前に受けた認知機能検査で約半数の人が認知症のおそれありもしくは認知機能の低下のおそれありと判定されており、認知機能検査の内容および検査後の免許返納の流れについて説明があった。その後ケアマネジャーより現在取り込んでいる免許返納の事例が紹介された。本

人には認識がないが、家族からの要請で取り込まれることが多い事、しかし生活には欠かせないため簡単に免許を手放そうとせず、また返納は本人の了解がなくては執行できないため家族とたびたびトラブルになることなどが説明され、この問題の難しさを改めて認識した。その後、ケアマネジャーや民生委員、行政の保健師からの意見交換があった。最後に金谷雄生広島市東区医師会会長の挨拶で閉会した。



研修会の様子

東区多職種連携の会～ひがしの絆～ 在宅医療研修会

日時：10月9日(金)午後7時

場所：東区総合福祉センター3階「大会議室」

東区多職種連携の会および在宅医療研修会併設の形で標記の会が開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会で対象者は医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、地域包括支援センター、健康長寿課であり、参加者は会場での参加が76名(東区支部より野村登志夫支部長、竹本美保副支部長、宮村健一氏が参加)およびリモートでの参加が59名の計135名であった。

益田浩東区地対協常任理事の司会で始まり、金谷雄生東区地対協会長(東区医師会会長)、篠原富子東区地対協副会長(広島市東区長)の挨拶の後、各職種から摂食嚥下に関する発表があった。山本圭子太田川病院認知症看護認定看護師からは「認知症の人の先行期の食事支援」で、安原明美広島県看護協会訪問看護ステーション「ひろしま」摂食・嚥下障害認定看護師からは「安全に食べる食事支援～姿勢

と介助のポイント」で、杉村暁生介護老人施設スカイバード言語聴覚士からは「先行期への対応」で、そして中村精吾 JR 広島病院リハビリテーション科主任部長からは「基本的な摂食嚥下障害の話」という演題で講演が行われた。

認知症などの機能的障害や器質的および心理的障害から生じた摂食嚥下障害の中で、とくに先行期にどのような支援ができるのかを配膳や食事介助の工夫、患者の食事の姿勢調整の改善など実際の症例を交えた講義がなされた。そして今後は多職種が連携して食べる可能性の再評価を行うことや、地域がなかなか気づきにくいとされる摂食嚥下に関する問題の共有や知識の向上の必要性などが話し合われた。最後に住吉秀隆東区地対協副会長(広島市東区医師会副会長)の挨拶で閉会した。



研修会の様子

南区支部

広島市翠町地域包括支援センター主催 介護予防教室

日時：9月23日(水)午後1時30分

場所：イオンみゆき店

広島市翠町地域包括支援センター主催の介護予防教室が開催され、岡崎文彦地域歯科保健部委員が「お口の老化・ケア・リハビリについて」と題して翠町地区の地域住民21名に対して講演を行った。

講演では、口腔機能低下症、誤嚥性肺炎、口腔内清掃の方法、舌のリハビリテーションについて説明し、舌の運動機能の維持・向上が摂食嚥下機能の維持・改善や誤嚥性肺炎の予防に有効であることを解説した。摂食・嚥下機能には舌の筋力が重要であることを説明し、舌圧測定器にて舌の筋力が数値として把握できるようになったことを紹介した。次にペコぱんだを用いた舌圧トレーニングを出席者全員で行った。

その後質疑応答を行い、美味しく食事ができるためのお口の健康維持には虫歯や歯周病のケアだけではなく、口腔習癖も関連していること、舌や口腔周囲筋の力・唾液とい

った口腔内の機能の維持も重要であることを理解して頂いた。

地域歯科保健部は介護予防教室で舌圧測定器やペコぱんだを活用することによって、通所口腔ケアサービス利用のきっかけとなる取り組みを行っている。今後も高齢者のフレイルへの移行を予防する啓発を行っていく所存である。



講演をする岡崎文彦本会地域歯科保健部委員

西区支部

中広圏域多職種研修会

日時：10月15日(木)午後7時

場所：西区民文化センター3階「大会議室 AB」

標記の会が広島市中広地域包括支援センター主催により開催された。出来哉美同センター保健師の司会進行の元、中村直輝センター長が開会の挨拶をされ、コロナ禍の折、今回案内は専門職のみにして人数を制限したが、地域ネットワークはとても大切に思っており、より良い形を企画していく旨を述べられた。続いて基調講演が井口郁雄広島市

民病院副院長より「摂食・嚥下障害における耳鼻科医の役割」という演題で行われた。最初にわかりやすいパンフレットの紹介をされ簡潔に説明された後、以下3つのパートについて講演された。①摂食嚥下障害の基礎(飲み込みのメカニズムやなぜ嚥下障害が起こるのか等)、画像、動画を含めて説明、②在宅での注意点と対策(ポジショニング

や食事、リハビリ等)、予後予測と報告・連絡・相談のポイント(嚥下障害を疑うポイントや誤嚥性肺炎の兆候と対応等)、③摂食嚥下障害における耳鼻科医の役割(対象、診断、治療、病院で行われていること等)。VF、VE の動画を交えとてもわかりやすく説明された。情報交換は時勢のため行われず、総評が炭田知宣医師(広島市西区在宅医療・介護連携推進委員会)よりあった。続いて閉会のあいさつが新田哲也広島市西区医師会理事からあり、終わりの言葉が草野富美子西区支えあい課地域支援担当課長から述べられ、閉会した。なお、西区支部からは、角田達彦支部長、

竹田芳弘副支部長、山根一芳氏の3名が参加した。



研修会の様子

各部委員自己紹介

小林裕子委員

広島市歯科医師会の先生方、いつもお世話になっております。広報部委員の小林裕子です。

歯科医師会に入会してまだ数年で、さらに委員としても未熟でいつも右往左往しております。

我が家は、何を隠そう祖母も歯医者、母も歯医者。ついでに伯母も歯医者、従姉も歯医者！

当たり前ですが全員女性！！ Max 女系の歯科医師です。因みに父も歯医者でしたが、黒一点で非常に影が薄いことになってました。

生まれながらに歯医者好きになりそうな環境でしたが、小さい頃から虫歯に泣かされ、治療で泣かされ、痛い思いを何度もしてきました。未だにユニットに座ると体が強張り、血圧が乱高下します。

自分でもこんなに怖いのによく歯医者になったと思いますが、患者さんへ寄り添う気持ちだけは自信があります！特に「嫌だよね、怖いよね、痛いよね、わかるよ！」と宥めつつ治療を進めることが得意です。

ふと気づくと経験年数は増えましたが、歯科医師としてまだまだ未熟。日々仕事に励んで疲れ果て、夜になったらほぼ寝るだけの生活のため主婦としてどうなんだ？と思う毎日です。

そんな私の癒しはペットのセキセイインコ(30g)と猫(7200g!)です。

インコはいつも暴れん坊で、猫はいつもマイペース。どちらも決して思い通りには動いてくれませんが、姿を見ているだけでこの子たちの餌代のためにも頑張って働かなくては！とやる気が出てきます。



〇年前のお茶会で



昔の義歯設計図カード(伯母の?)

完全インドアな私の趣味は唯一続いた茶道ですが、ただお菓子を食べてお抹茶をいただいて友達とお喋りしているゆるさで、適当だからこそ続いているのか？とも思います。

和洋を問わずスイーツ大好きですので、甘い物好きな方ぜひ声をかけてください。スイーツ探究の旅に行きましょう。

今年は茶道の稽古もストップし完全引きこもりの半年を過ごしました。その間ハンドメイドにハマってしまい、私はマスクをやたら縫い、母はブラウスやパンツなどの洋服を縫い、居間は現在縫製工場になってます。

新型コロナウイルス感染の流行で、未来が見えない不安な世の中になっています。

私たち歯科医師も今までにない時代を生き抜いていかなければいけませんし、そのためには常に新しい情報を得ていくことが大切だと思います。

広報部委員として、理事の水内先生や委員の先生方の精力的な動き方を見て学んで、そして得た情報を広報として広めていけるようにこれからも微力を尽くしたいと思います。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。



うちで一番可愛い！



親子でマスクは必須です

鈴木良貴委員

こんにちは。本年7月から広報部委員になった入会17年目の鈴木良貴です。広島市歯科医師会委員としては、かなりのオールド・ルーキーです。水内裕之理事とは学生時代の同級生で、今回の委員就任についても、電話やリモートで丁寧な説明をしていただきました。委員の皆様には様々なことでお世話になっています。先日は、記事のHPへのアップ方法を教えて頂きました。だよりの中にある「今月の知っておきたいこと」「ニュースピックアップ」の記事はとても参考になるので、自分もいつも読んでいますが、実際に私が会員の皆様に貢献できるには、まだ時間がかかりそうです。

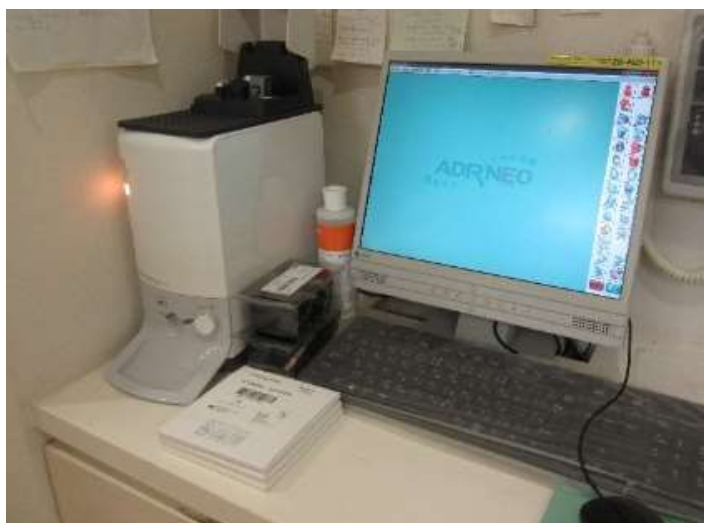
今年は新型コロナウイルスのパンデミックでとても厳しい状況ですが、広島市歯科医師会だより号外版の新型コロナウイルス関連情報に従って、様々な対応ができました。自院での工夫としては、購入した「虫よけネット」(2500円程度)を張りつけて夏場の虫対策をしました。マジックテープで窓枠に貼り付け、開閉は磁石でします(写真①)。助成金の取り扱いについても苦労や心配をすることが多いのですが、専門職の方をお願いするようにしました。社労士さんと相談させていただくことで、かなり負担が少なくなっています。また、この度、「インターバル助成金」を利用したデジタル・デンタル・レントゲンの導入ができました(写真②)。

趣味としては、先輩の紹介で10年前からジムに通い、ストレス発散と体調管理になっていました。今は休んでいますが、YouTubeのエクササイズで復帰準備をしています。

今後、委員としてより良い情報提供に努めたいと思います。何卒ご指導の程よろしく願いいたします。(写真③大学同期の水内裕之理事{左上}、下松市松尾勝弘先生{下}とのZoomの様子)。



写真①



写真②



写真③

近年の自然災害による支払金急増のため、来年1月から火災保険料が一斉に値上げされるそうです。詳細は10月末に決まるそうですが、年内に長期契約に見直されてはいかがでしょうか？

山田英太郎委員

広報部で委員を仰せつかっている山田英太郎と申します。

日本歯科大学を卒業後すぐに帰広し、勤務医を経て平成13年に己斐の地で開業いたしました。その際には数多くの皆さんよりご助力をいただき、大変ありがとうございました。

さて私の趣味・・・と言っても、その時々で変遷がありました。大学時代は遊びでテニスをしていました。学校が休みの土曜日が来ると、神宮球場に隣接する神宮外苑テニスコートに通ったものでした。帰郷後もしばらくは続けておりましたが、友人に誘われるままにゴルフをやるようになりました。公式デビューは大学校友会のコンペ。郷原カントリークラブで最初のホールは栄えある「ギブアップ」でした。先輩から「先生は8の字が寝た分ね」というありがたいお言葉をいただきました。その後は、時間に縛られない山歩きへと変わりました。よく聞く「そこに山があるから」などというカッコいい始まりではなく、たまたま散歩の途中で登山道に入り込み、そのまま登るようになったというちょっと風変わり



無免です！



奇岩「おむすび岩」

なきっかけです。開業後しばらくは休み毎に広島県内の山を目指しましたが、なかなか時間も取れなくなり、現在は休日に嫁さんと県内ヘドライブに出かけています。なお、登山のころからカメラを手に気の向くままに風景などを取るようになり、今では「強いて言えば」的な趣味となっています。

早19余年の長きにわたり歯科医師会に関わらせていただいているうちに、気が付けば現役最古参委員という立場に立っておりました。こんな自分を今日まで起用してくださった理事の皆さまには感謝の思いで一杯です。長い間お世話になりありがとうございました。年齢的な限界は感じつつも「世間から求められている間はせめてできることを」という気構えで頑張っております。今後ともよろしく願い申し上げます。



壬生の花田植え

柔しく剛く

コロナ禍と親睦事業
熊谷 宏

私は、昨年6月の会長就任にあたり「柔(やさ)しく剛(つよ)い広島市歯科医師会を目指して」という会長方針を立てさせて頂きました。今年年初に発行した「太田川」巻頭言や、広島市歯科医師会だより「会長コラム(1月号)」で述べたとおり、「柔しく」には「融和」という想いを込めています。そのために、本執行部では会員の福祉・厚生や保健、相互の親睦等を目的とした事業・行事を開催する部として厚生部(谷巖範理事)を新たに立ち上げ、さまざまな新事業を立案していただいています。

厚生部としての最初の大仕事(新事業)は、今年1月の新年互礼会でした。新年互礼会はこれまで、三役対応で実施してきましたが、新年互礼会の本当の主旨は「会員同士の新年のあいさつ・親睦」であると考えていたので、厚生部が担当すべき事業だと判断したのです。

はたして、本年の新年互礼会は素晴らしいものでした。冒頭の書初め、そして鏡開きに始まる互礼会は、政治家の先生方のご挨拶の時間を極力短縮し、会員同士の親睦を図れるようなしつらえになった素晴らしい会だったと思っています。

厚生部が立案する新規事業であり、私の思いの中でも目玉の一つが、8月に実施予定であった家族会でありました。小さなお子さんをはじめとする家族同士の親睦を深めることで、若い先生が会

務に参加する環境づくりの一助にもなると考えていました。厚生部は、「平田観光農園での果物狩り—三次市内のバスツアー」という素晴らしい計画を立ててくれましたが、コロナ禍のために、中止を余儀なくされたことは断腸の思いでした。

秋を迎えた今、コロナ禍の終息のめどは立たず、第3波の到来すら取りざたされている状況です。

こんな中、カーブ観戦は1度実施できましたが、宴会場で大勢が集まるクリスマスパーティーも中止とせざるを得ませんでした。

我々理事会としては、来年1月開催予定の令和3年新年互礼会をどうするかについて、協議を重ねてきました。その結果、これからインフルエンザの流行の時期にもなり、現時点で開催を決断することは難しく、中止やむなしという結論となりました。本当に残念です。

その代わりと言ってはなんですが、1月に広島市歯科医師会だより「新年互礼会特別号(仮題)」を発刊し、誌上で新年の親睦を図るという企画を考えています。急なお願いにも関わらず、厚生部では早速委員会を開催し、様々な案を練ってくれているようです。

会員の先生方にも、取材や原稿執筆等のお願いがあるかもしれませんが、その節は是非よろしく

お願いいたします。

話は変わりますが、広島市による「口腔外バキューム整備促進事業」についてです。10月末時点で、250を超える歯科診療所から申請を頂き、助成金交付見込額も1億円を超えました。多くの先生方の福音になっていることをうれしく思っています。

本事業は、3月末までの納品、支払い証明(領収書)が必要なことから、口腔外バキュームの品薄が問題でした。しかし、業者さんも製造を急ピッチで進めておられるようで、納品の前倒しができているとの話も入ってきています。もしかしたら、商品や業者さんによっては、これからの発注でも間に合うかもしれません。購入を考えておられる先生は、念のため業者さんに確認されてはいかがでしょうか？

本事業の助成申請(様式1・3)の締め切りは、令和2年12月21日(必着)となっています。申請資料の不具合等も多いことから、早め早めの提出をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2020年10月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2020年10月1日～10月31日)

世界・日本での経過	2020年	広島市歯科医師会での対応
東京都第2波死亡率は第1波より減少	10月1日	
米トランプ大統領夫妻、新型コロナ陽性に	10月2日	令和2年度乳幼児健康診査(1歳6か月児健診、3歳児健診)の協力医療機関における個別健康診査(特例)の延長についてFAX通知
トランプ大統領入院 感染者数 世界：34,503,116人 日本：84,768人	10月3日	
英国、1日あたり新型コロナ感染者数初の1万人超	10月4日	
	10月5日	「広島は決して屈しない！プロジェクト」第1号動画打合せ
トランプ大統領退院	10月6日	
感染者数 世界：36,077,693人 日本：87,020人	10月7日	「広島は決して屈しない！プロジェクト」第1号動画打合せ
日韓ビジネス往来しやすくする制度が始まる	10月8日	
スペイン首都マドリードで再び非常事態宣言	10月10日	
WHO”集団免疫”獲得戦略は「非倫理的」	10月13日	
”給付金の偽サイト”総務省が注意呼びかけ	10月15日	
仏、1日の感染者3万人超で最多更新	10月16日	
欧州で”第2波”1日15万7000人超の感染	10月18日	
ファイザーのワクチン臨床試験 国内で開始	10月20日	
感染者数 世界：40,348,725人 日本：93,933人		
マスク効果検証”他の対策と併用が重要”	10月22日	
米「レムデシビル」を正式承認。治療薬で初	10月23日	
WHO「重大な岐路」欧州で第2波深刻	10月24日	
新型コロナ&インフル対応体制、調整に苦慮	10月27日	
感染者増、北海道で「警戒ステージ2」に	10月28日	
第2波深刻、仏全国規模の外出制限を発表	10月29日	「広島は決して屈しない！プロジェクト」第1号動画撮影日 おくちの健康展代替事業三役打ち合わせ(web会議)
感染者10万人超「10月以降、微増傾向」	10月30日	
WHO「多くの人に深刻な後遺症」警告	10月31日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体

※以前のものは前号参照

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起っています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：カルテの開示について

インプラントについてカルテ開示を求めているが、歯科医側の弁護士に「自費治療のカルテ開示と保証書の提出には回答できない」と言われた。どうしたらいいのか。

(センターの対応)

歯科医が弁護士を立てており、司法の話になっているので、センターでは対応しかねる。

(コメント)

自費治療の際には特に、材料、費用、保証などをよく説明し、患者に納得してもらうことが大切です。場合によっては、同意書にサインを頂く事も検討しても良いかもしれませんが。

事例2：紹介状について

A 歯科医院に抜歯の紹介状を書いてもらうのに、通院中のC病院を希望したのに、B病院に紹介状を書くと言われた。腹が立ち、D 歯科医院で希望のC病院に紹介状を書いてもらい、抜歯してもらった。

(センターの対応)

患者への医学的な判断から、あるいは地域連携からそう言われたのかもしれない。話を聞いているうちに、「患者の言い分を聞かない医師を問題にしようとしたが、大人気ない気もしてきた」と終了された。

(コメント)

患者の話をよく聞き、トラブルの防止に努めましょう。患者の希望に添えない場合は、その理由もきちんと説明しましょう。

事例3：インプラント治療について

昨年インプラント治療を受けた後、同側の目が腫れてきた。歯の影響と思い大学病院を受診、「金属アレルギーの可能性がありインプラントを取り除いた方が良い」と言われた。取り除く費用はどうか？金属アレルギーの説明を受けていない。

(センターの対応)

経緯を伺うと契約書はなく、治療の詳しい説明はなかったと返答された。消費者生活センターへの相談を勧めた。

(コメント)

インプラント治療はトラブルになりやすいため、想定される有害事象も含め説明をしっかりと行いましょう。また、契約書を取り交わすことが医院と患者双方の安心につながります。

事例4：インフォームドコンセントについて

家族が、奥歯の冠がとれたためかかりつけ歯科を受診した。型を取り、「数万円かかる」と言われた。帰宅後高額すぎると思い、翌日に取りやめの電話をした。すると歯科医院側は、「もう型作製の発注をしているのでキャンセル出来ない」と言われたがこれは妥当か？

(センターの対応)

医療はクーリングオフが効かない、型を作成しているのであればキャンセル出来ないことを伝え、素材やなぜその金額なのか相談者が聞くように伝えた。

(コメント)

患者が納得して治療を受ける為に、治療説明は十分に行い、患者さんの疑問には誠意を持って対応し、信頼関係を築けるように心懸けましょう。

事例5：領収書について

奥歯が欠けて歯科受診し、自費治療を選択したが領収書がもらえない。何とか発行してもらえないか？

(センターの対応)

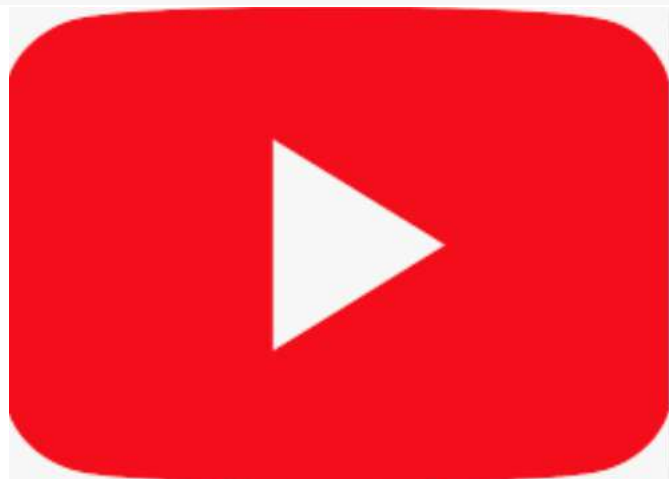
センターでは分からないことを伝え、歯科医師会へ問い合わせるように伝える。

(コメント)

領収書の未発行は脱税疑いにも繋がります。必ず発行するようにしましょう。

チャンネル登録をお願いします！

YouTube を開き「広島市歯科医師会広報」と検索してみてください。「広島市歯科医師会のロゴ」と「一般社団法人広島市歯科医師会から市民の皆様にお送りするチャンネルです」が見つけれられるはずです。広報部では有用な情報を動画で提供する目的で YouTube チャンネルを開設しました。「FM ちゅーピー76.6MHz のお口の健康広場デンタルパーク」、7 月放送分からアップを始めましたのでご報告いたします。今後はラジオ番組のみならず幅広く広報活動に活用していく所存ですので、「チャンネル登録」(←ここ重要！)して有効にご活用ください。なお 6 年前に作成した昔のチャンネルと区別するために【公式】広島市歯科医師会 と【公式】をつけておりますので、間違わないようにこちらの方の「チャンネル登録」をお願いします。



9 月 2 日放送分

「気をつけよう親知らず」

広島市歯科医師会 森川英彦氏

<https://www.youtube.com/watch?v=vya6CrNKZz8>



9 月 16 日放送分

「がん治療と口腔ケア」

広島市歯科医師会 平井由美氏

<https://www.youtube.com/watch?v=ok1gfoEexZ4&t=35s>



記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。
最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

今月の知っておきたいこと

▼「令和 2 年版 厚生労働白書」を公表します

厚生労働省 (2020 年 10 月 23 日)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14223.html



厚生労働省は、本日の閣議で「令和 2 年版厚生労働白書」(平成 30 年度および令和元年度厚生労働行政年次報告)を報告しましたので、公表します。「厚生労働白書」は、厚生労働行政の現状や今後の見通しなどについて、広く国民に伝えることを目的にとりまとめており、令和 2 年版は、平成 13 年(2001 年)の「厚生労働白書」発刊から数えて 19 冊目となります。令和 2 年版厚生労働白書は 2 部構成となっています。例年異なるテーマでまとめている第 1 部では「令和時代の社会保障と働き方を考える」と題し、平成の 30 年を振り返りつつ、高齢化がピークを迎える 2040 年頃を見据えて、「人生 100 年時代」「担い手不足・人口減少」「新たなつながり・支え合い」「生活を支える社会保障制度の維持・発展」という 4 つの方向性に沿った対応の必要性を提示しています。厚生労働省では、この白書が、わが国の社会保障や働き方の現状についての理解を深めるとともに、今後の在り方についてあらためて考える一助となることを願っています。(以下上記リンク先参照)

▼接種勧奨の中止で死亡 4 千人増か 子宮頸がん予防ワクチン

共同通信(2020 年 10 月 22 日)

<https://this.kiji.is/691938494907008097>



子宮頸がんを予防するヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの積極的な接種勧奨を厚生労働省が中止し接種率が激減したことで、無料で受けられる定期接種の対象を既に過ぎた 2000~03 年度生まれの女性では、避けられたはずの患者が計 1 万 7 千人、死者が計 4 千人発生するとの予測を大阪大チームが 22 日までにまとめた。接種率が 0%近い現状では、その後も同じ年に生まれた女性の中で 4 千人以上の患者、千人以上の死者の発生が防げなくなるとした。ワクチンは 10 年に公費助成が始まり、13 年 4 月に小学 6 年~高校 1 年への定期接種となった。だが 6 月、接種は無料

ニュースピックアップ

▼認知症の原因物質 歯周病によって蓄積する仕組みを解明

朝日新聞 2020 年 10 月 5 日

<https://www.asahi.com/articles/ASNB544G9NB5TIPE003.html>



歯周病菌が体内に侵入し、認知症の原因物質が脳に蓄積して記憶障害が起きる仕組みを九州大などの研究チームが解明した。歯周病と認知症の関連は近年注目を集めており、認知症対策につながる発見という。認知症の 7 割を占めるアルツハイマー病は、「アミロイドベータ(Aβ)」などの異常なたんぱく質が長年、少しずつ脳に蓄積し、発症や症状の進行につながるとされる。

のまま勧奨が中止された。
大阪大学プレスリリース
HPV ワクチン接種率の激減によって増加する子宮頸がん罹患・死亡者の推計人数

https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2020/20201021_1

▼日歯連盟の選考委員会が次期参院選の組織内候補者に山田宏氏を推薦候補者として答申

日本歯科新聞(2020 年 10 月 22 日)

http://www.dentalnews.co.jp/news/detail/2020/index.html#1020_01

次期参議院比例代表選出議員選挙に向けて、日本歯科医師連盟の擁立候補者を選定する選考委員会(藤田一雄委員長)は 16 日、投票により、推薦のあった山田宏氏、西村正美氏、萩原鉄也氏のうち、山田氏を推薦候補者として答申した。理事会の儀を経て、30 日の臨時評議員会で決定すれば正式に組織代表候補者となる。

▼日歯が 2040 年見据えた歯科ビジョン

日本歯科新聞(2020 年 10 月 22 日)

http://www.dentalnews.co.jp/news/detail/2020/index.html#1020_03

日本歯科医師会(堀憲郎会長)は 15 日、「2040 年を見据えた歯科ビジョン—令和における歯科医療の姿」を発行し、ホームページにも掲載した。日歯はこれまで、「超高齢社会において歯科医療の果たすべき新しい役割と責任」について議論を重ね、口腔の健康と全身の健康の関係性についての知見をベースに、歯科医療・口腔健康管理が健康寿命の延伸に貢献できるとの確信の下、ビジョンを作成。18 年から構想を練り、19 年には外部有識者を交えた検討会議を実施、新型コロナウイルス感染症の影響で、作業が一時中断したものの、編集会議を進めてきた。

◎以前より語られていましたが、また一つ裏付けが増えましたね。歯科受診がまた増えそうです。

▼小児歯科元院長を在宅起訴 虫歯治療後 2 歳死亡、業務上過失致死罪で福岡地検

毎日新聞 2020 年 9 月 28 日

<https://mainichi.jp/articles/20200928/k00/00m/040/14200c>

2017 年に麻酔薬を使った虫歯の治療後に容体が急変した女兒(当時 2 歳)に適切な救命措置を取らず死亡させたと

して、福岡地検は 28 日、福岡県春日市の小児歯科医院（閉鎖）の院長だった男性歯科医（55）＝同県筑紫野市＝を業務上過失致死罪で福岡地裁に在宅起訴した。地検は認否を明らかにしていない。

◎我々 歯科医師は誰でも、いつ何時このような事態に直面するかわかりません。どこまで責任を問われることになるのか、今後の動きに注目していく必要があります。

▼予防接種した人もウイルス感染する例がある訳

東洋経済 ONLINE 2020 年 10 月 19 日
<https://toyokeizai.net/articles/-/382262>



インフルエンザ予防接種の受付が始まって半月が経過した。昨年末から年初にかけてはインフルエンザが流行らなかったが、もしこの冬にインフルエンザの感染が拡大したら、発熱などの初期症状は新型コロナウイルス感染症と区別が付きにくい。医療機関からは「パニックになるのでは」といった不安の声が上がり、インフルエンザの予防接種を推奨する医師は多い。一方で、一般の人からは「予防接種をしてもインフルエンザにかかった。意味があるのか」などという不満の声も耳にする。

◎ワクチンと治療薬について、またウイルスについて、わかっているようで曖昧な部分があります。ワクチンを接種した後もやはり自分自身の体力と免疫力を高める必要がありますね。さらには、手洗い、うがい、マスクをつけて、インフルエンザにも新型コロナウイルスにも感染しないように気をつけましょう。

▼新型コロナウイルス、ヒトの皮膚表面で9時間生存 京都府立医大が発表

産経 WEST 2020 年 10 月 9 日
<https://www.sankei.com/west/news/201009/wst2010090033-n1.html>



新型コロナウイルスはヒトの皮膚表面上で、インフルエンザウイルスの約5倍長い9時間程度生存する。こうした研究結果を、京都府立医大の広瀬亮平助教（消化器内科学）らの研究グループが発表した。

◎新型コロナウイルスはインフルエンザの約5倍の9時間程度にわたり皮膚上で感染力を保ち続け、接触感染による感染拡大のリスクがインフルエンザより高い可能性が示唆されました。またこの記事では、エタノールで 15 秒間消毒することで、皮膚上の新型コロナが完全に感染力を失うことも明らかになったと報告しています。こまめな消毒が必要ですね。

▼欧州のコロナ「第2波」止まらず 入院者急増に危機感も

産経ニュース 2020 年 10 月 9 日
<https://www.sankei.com/life/news/201009/lif2010090037-n1.html>



新型コロナウイルス流行の「第2波」で、ドイツ、フランス、英国など欧州の主要国で今週、1日当たり新規感染者数が最多になった。各国政府は全国的な「都市封鎖」の再実施は避けたい方針で、自治体ごとに規制を強化し、感染封じ込めに懸命になっている。

◎欧州での入院者数は急増し、各国で危機感が強まっています。フランスのパリ首都圏では、集中治療室の病床占有率が 40%を超えたそうで、保健当局は病床確保のため、ほ

かの病気の手術日程の先送りを始めたと明らかにしました。海外でも終息の二文字はまだ見えそうにありません。

▼トランプ米大統領に投与、モノクローナル抗体とは

Yahoo News 2020 年 10 月 6 日
<https://news.yahoo.co.jp/articles/b86ccfe2e3b1e9e4b3cb5a1be1653ac7f71edc25?page=1>



トランプ米大統領の新型コロナウイルス感染は、ホワイトハウスのトップに起こった健康危機としてはここ数十年で最大だった。これまで米国では何百万人もの感染者が確認されており、トランプ氏自身もその 1 人に加わったことになる

◎新型コロナウイルスのスパイクたんぱく質に最もよく結合する抗体を作る細胞がどれかを調べ、特定の 1 種類（モノ）の抗体のみを作るクローン細胞の株が生み出され、それを使って作られるのが「モノクローナル」抗体ということです。アメリカで最先端の研究がされており、日本では免疫グロブリンの研究が進んでいますが、アメリカに差をつけられているといわれています。今後要注目です。

▼息で新型コロナを判定 東北大と島津製作所が実用化へ

朝日新聞 2020 年 10 月 16 日
<https://www.asahi.com/articles/ASNBj4WVKNBJPLFA004.html?twicoid=IwAR0tQMj9W7tFBu4zTow9dtFE-FOjfhTrCTvPsuEBBN46KTryLE57ZJeAUSw>



東北大学と島津製作所は 16 日、息で新型コロナウイルスの感染の有無や重症化リスクを判定できる手法を開発したと発表した。患者と接触せずに検体を採取でき、1 時間以内の診断も可能だという。自宅で息を集めることも想定しており、早期の実用化を目指す。

◎唾液に続いて息でも検出できるようになるようです。装置がどの程度の大きさなのか気になるところですね。

▼見えない飛沫、正しく回避 スパコン「富岳」で可視化

産経ニュース 2020 年 10 月 18 日
<https://www.sankei.com/life/news/201018/lif2010180044-n1.html>



理化学研究所のスーパーコンピューター「富岳」で新型コロナウイルス対策の評価を進める同研究所などのチームが発表した飛沫（ひまつ）に関するシミュレーション結果。マスクによる感染予防効果や飲食店のテーブルでどこに座ると飛沫を受けるリスクが高いかなどを分析した。

◎普通に生活する中で、どこまでどの程度気を付けなければならないのか、わからないまま不安だけが先行していましたが、「富岳」の解析で少しずつ明らかになっているようです。新型コロナウイルス感染症へ正確な対策を立てることによって、また自粛ばかりではない生活ができるようになるとうれいですね。

▼がん患者の 2 割が通院延期や中止 新型コロナが受診控えの要因か

NHK NEWS WEB 2020 年 10 月 12 日
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201012/k10012659081000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_018



新型コロナウイルスの影響で、がん患者の 2 割が通院の予定を延期したり中止したりしていたことが、調査

会社などのアンケートで分かりました。感染や重症化のリスクを不安に感じる患者が目立った一方で、正確な情報によって不安が和らぐこともうかがえ、調査会社はそれぞれの患者に合わせた丁寧な説明が必要だとしています。

◎命にかかわる、がんという病気ですら、新型コロナウイルスの影響で治療を延期したり、中止したりしているようです。直接命にかかわることの少ない歯科において、受診控えがおこるのも無理はないように思えます。

▼持続化給付金「不正に受給した」と名乗り出、警察に相談1600件

yomiDr 2020年10月15日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20201015-OYT1T50226/?catname=news-kaisetsu_news

新型コロナウイルスの影響で収入が減った個人事業主らを支援する国の「持続化給付金」について、「不正に受給した」と自ら名乗り出るなどの相談が全国の警察に計約1600件寄せられていることが警察庁のまとめでわかった。警察庁によると、相談の多くは不正受給した本人や、その親族からの届け出で、「知り合いから不正受給を持ちかけられた」という内容もあった。

◎本当に困っている人に対する救済措置なのに、事実を偽ってその資金を取るような詐欺行為は決して許容できるものではありません。中には「手軽に稼げる」からと勧められて「軽い気持ちで」手を染めた人もいますが、その代償はあまりに大きいものとなりそうです。

▼温泉旅館無断キャンセルに賠償命令、請求通り

広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。

～第13回～ ウゲルってなんだ??

二葉里志さんのクリニックは今日も多くの患者さんで忙しくしています。70代男性のBさんはアポ外での来院です。チェアに座るなり早口で、「先月入れ歯の裏打ちをしてもろうたが、裏打ちがウゲテしもうてウゲタとこが痛いよ」。二葉さんにはウゲルの意味が分からないのですが、義歯を見てみると先月リベース材でリベース（正確にはライニング←ここ重要）した部位が一部剥離して、鋭縁ができてしまっています。

広島県内の人、特に高齢者は「剥げる、剥離する」意味でウゲルを使います。「剥げる」は同じ音の「禿げる」ではないので、薄毛に悩むその先生、安心して下さい(笑)。よく耳にする使い方としては、「カサブタがウゲル」とか「日焼けで皮膚がウゲタ」とかですね。少し調べてみると岡山県でも同様な意味でウゲルを使うようです。一方、高知県民はウゲルを「歓待する」意味で使うようですので、同じ音ですが全く違う言葉と判断します。

ウゲルの語源を調べてみると、穿つ(ウガツ)に行きつきます。辞書によると、

「穿つ」

1.穴をあける。掘る。突き通す。貫く。

男性2人に280万円 地裁大田原支部

Yahoo News 2020年9月23日

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7c6953280c417da24f3349a20ed4a2b3af1e29fb>

栃木県那須塩原市や日光市などの温泉地の宿泊施設で1月、宿泊予約の無断キャンセルが相次いだ問題で、被害に遭った8施設が千葉県の男女3人にキャンセル料などの損害賠償を求めた訴訟の判決が23日、宇都宮地裁大田原支部であった。

◎温泉旅館の無断キャンセルに賠償命令が出たようです。無断キャンセルは歯科医院経営においても大打撃となります。予約制の歯科医院のユニットはホテルや旅館の部屋のようなものです。このことを広く国民に周知してもらいたいところです。

▼東本願寺にQRコード、さい銭をキャッシュレスに…仏教界では論議

yomiDr 2020年10月12日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20201012-OYTEW626299/?catname=news-kaisetsu_news

真宗大谷派(京都市下京区)が12日、さい銭のキャッシュレス決済を始めた。仏教界では「信者の個人情報第三者に把握され、信教の自由が侵される恐れがある」などと一部で反対意見もあるが、真宗大谷派は、新型コロナウイルス対策で参拝者が現金に触れる機会を減らす必要があるとして導入した。

◎なるほど信仰の世界にもIT技術が反映されていくことでしょう。特にこのご時世はコロナウイルス感染拡大防止という意味ではよいことかもしれません。ただ、神秘性という観点からいうと「？」がついてしまうかも。ご利益のほどは如何に。



- 2.押し分けて進む。通り抜けて行く。
- 3.人情の機微に巧みに触れる。物事の本質をうまく的確に言い表す。
- 4.袴(はかま)・履物などを身に着ける。履く。

とあります。我々が日常診療で注意しなければならない「穿孔」は 1 の用法。広島弁のウゲルも 1 の「穴をあける」から派生しているのでしょう。また、4 の用法では「ズボンを穿く(はく)」とは書きますが、靴の場合は「穿く×」で「履く○」ですね。袴を穿く様子は貫くに似ているので、元は 1 の意味だったと推察します。

3 の用法については文化庁が発表した平成 23 年度「国語に関する世論調査」では、「うがった見方をする」を、本来の意味とされる「物事の本質を捉えた見方をする」で使う人が 26.4 パーセント、本来の意味ではない「疑って掛かるような見方をする」で使う人が 48.2 パーセントという逆転した結果が出ています。文化庁の HP によると、「穿つ」とは「穴を掘る」から転じて「物事を深く掘り下げ、本質を的確に捉える」「隠れた真相を見抜く」という意味でも用いるようになった、とあります。中高時代、国語は 10 段階の 3 が定位置だった筆者も思いつ切り誤用していました(笑)。

文化庁の HP では誤用の原因にも考察を加えています。要約すると、「うがち過ぎ」という「うがつ」ことが行き過ぎた言葉があり、この「うがち過ぎ」が「うがった見方」にネガティブな影響を与えたのではないかと。また、「うがった見方」で物事の真相に近づくと探られる方は気分の良いものではなく、何か疑われているように感じることから、「うがった見方をする」があまり良くない意味で捉えられるようになったのではないかとあります。

本連載はいつまでも「穿った」連載でありたいと思う筆者です(笑)。

※参考文献 「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第 1・3 水曜日午後 0 時 50 分から

11 月 4 日放送分

「入れ歯の手入れとブリッジの清掃」
広島市歯科医師会 光山 素夫氏

虫歯や歯周病で歯を抜かざるを得なくなった場合、咀嚼(そしゃく)機能の回復のためによく利用される方法に入れ歯やブリッジがあります。修復して終わりではなく、長持ちさせて次なる欠損を防ぐためにも日々のお手入れが大切です。お手入れの方法について歯科医師の光山素夫さんが解説します。

11 月 18 日放送分

「がんと口腔ケア」
広島市歯科医師会 岡崎 文彦氏

がんと口は、関係ないように見えます。しかし、口腔(こうくう)ケアはがん患者の手術前後のトラブルを少なくし、放射線治療や抗がん剤治療をする上で、患者の生活や生きる意欲を向上させるために重要です。近年さまざまな総合病院でも実践されている連携治療を歯科医師の岡崎文彦さんが解説します。

10 月定例理事会報告

「部外報告」

- 9 月 24 日 中国歯科用品商協同組合加盟歯科商店
対象「口腔外バキューム整備促進事業」
説明会
- 9 月 25 日 広島市こども未来局との協議
(乳幼児健診関係)
- 9 月 26 日 (県)会員面談

- 9 月 28 日 「広島は決して屈しない！プロジェクト」第 2 号承認
- 〃 歯科医師国保組合理事会
- 〃 (県)会員面談
- 9 月 30 日 滅菌事業公示
- 10 月 3 日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 10 月 5 日 「広島は決して屈しない！」第 1 号動画

打合せ
 10月 6日 滅菌事業入札
 10月 7日 「広島は決して屈しない！プロジェクト」第1号動画打合せ
 10月 8日 滅菌事業開札・滅菌事業落札
 10月18日 (中止)(県)健康ソフトボール大会
 10月19日 (県)会員面談
 10月20日 (県)会員面談
 10月20-26日 社会保険診療報酬支払基金審査(合議26日)
 10月20日 広島県国保連合会歯科再審査部会
 10月21-25日 広島県国保連合会歯科審査部会
 10月22日 新規個別指導に係る立会
 " 歯科医師国保組合理事会
 10月24日 (中止)第53回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会

(連盟関係)

9月 6日 自由民主党広島県連大会

「総務関係」

10月 3日 カーブ観戦について厚生部との協議
 10月17日 第1回学術講演会
 10月18日 広島東洋カーブ観戦の集い
 10月21日 第4回支部長・副支部長会
 10月27日 三役会
 10月28日 定例理事会

(慶弔関係)

9月 6日 南区支部 中本雅志先生 自由民主党
 広島県連会長表彰
 9月26日 中区支部 椿田忠之先生ご逝去
 10月 7日 中区支部 陶山ケイ子先生ご逝去

(入会退会関係)

9月24日 南区支部 土江雄治朗先生入会
 10月 2日 入会後面談(土江雄治朗先生)

(県歯理事会関係)

10月 1日 県歯理事会

(1) 総務部 (森本理事)

9月24日 中国歯科用品商協同組合加盟歯科商店
 対象「口腔外バキューム整備促進事業」
 説明会
 9月25日 (県)会員面談
 10月 2日 入会後面談(土江雄治朗先生)
 10月 8日 (県)保険部常任委員会
 10月13日 定例委員会
 10月17日 (県)会員面談

(2) 学術部 (花岡理事)

10月15日 学術委員会 Web 会議
 10月16日 学術委員会
 10月17日 令和2年度第1回学術講演会

(3) 厚生部 (谷理事)

10月 3日 カーブ観戦について協議
 10月 6日 定例委員会

10月17日 第1回学術講演会
 10月18日 広島東洋カーブ観戦の集い
 10月26日 臨時委員会

(4) 地域歯科保健部

10月 4日 (県)小児歯科レベルアップ研修会
 第1日目
 10月 7日 (県)地域保健部、学校保健部、
 介護・福祉医療部常任委員会
 10月16日 定例委員会

<学校保健> (有馬理事)

10月22日 (南区地対協)令和2年度南区在宅医療・
 介護関係者研修会
 10月26日 (南区地対協)広島市南区地域保健対策
 協議会 防災医療・介護連携委員会
 ・令和2年度定期健康診断について
 ・令和2年度広島市立保育園歯科健
 康診断について
 ・令和2年度就学時健康診断について
 ・「子どもの食べる機能の発達を支援
 するために」Web 講演会について
 ・学校・保育園への歯科保健資料寄贈
 について

<地域保健> (若林理事)

9月25日 広島市との協議(乳幼児健診関係)
 10月17日 ホームテレビ取材「口呼吸について」
 " みみより5up!10月20日放送
 令和2年度第1回学術講演会
 10月23日 第2回節目年齢歯科健診ポスター作製
 小委員会
 10月24日 (県)労働安全衛生法に基づく歯科特殊
 健診研修会

<地域連携> (藤田理事)

9月30日 西区地域包括支援センター運営協議会
 10月 4日 令和2年度広島県地域リハビリテー
 ション専門職等基礎研修会
 10月 8日 介護認定審査会
 " 令和2年度第3回広島市社会福祉審議
 会高齢分科会
 10月22日 中広地域包括支援センター主催介護予
 防教室

(5) 広報部 (水内理事)

10月 1日 校正委員会
 10月 7日 「広島は決して屈しない！プロジェクト」第1号動画打合せ
 10月12日 情報調査委員会
 10月15日 FMちゅーピー収録
 10月17日 学術講演会
 10月18日 カーブ観戦の集い
 10月22日 情報調査委員会(Web 会議)
 10月23日 広島ホームテレビ片上氏、秦氏と打合せ

FMちゅーピー (新聞掲載)

11月 4日 「入れ歯の手入れとブリッジの清掃」

広島市歯科医師会
光山 素夫氏

11月18日「がん治療と口腔ケア」

広島市歯科医師会
岡崎 文彦氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 1,711 (累計 160,498)
ページビュー 31,742 (累計 681,651)
会員サイト 訪問者 288 (累計 30,798)
ページビュー 1,493 (累計 226,083)
広報部 … Talking Heads<最新情報>
掲載件数 42 件(9/21~10/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 歯科医療安全相談

9月30日 苦情 診療明細書について(男性来館)
10月26日 苦情 部分床義歯の保証について

(60歳代男性)

「協議事項」

- (1) 新年互礼会について
中止決定
- (2) 退任学校歯科医、学校歯科嘱託医への感謝状贈呈
について
協議・継続審議
- (3) 令和3年度学校歯科医協議会講師選任について
協議、継続審議
- (4) おくちの健康展代替動画案について
協議、制作に向けて継続審議
- (5) 節目年齢歯科健診ポスター案について
協議、継続審議
- (6) その他
8020 取材等について
11月6日「8020」いい歯の表彰式及び「グランドビューティフル歯ッション賞」認定証授与式への取材等について

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

